

## 古語辞典に見られる天草方言

相方【あいかた】 相棒 相手  
愛嬌【あいきょう】 愛敬 愛想 会釈  
彼奴【あいつ あやつ】 三人称 あの奴 [彼] の卑語  
間中【あいなか】 中間  
間の手【あいのて】 相槌 ②片手間 時たま  
歩ぶ【あいぶ】 歩く  
相惚れ【あいぼれ】 相愛  
相身互い【あいみたがい】 お互い様  
あいや【あいや】 否々それは違う ちょっと待った  
阿吽【あうん】 相對の語  
饗【あへ】 酒食の持て成し 宴 饗宴  
喘ぐ【あおぐ】 息を切らす  
仰のく【あおなく】 仰向く  
明かうなる【あこうなる】 明るくなる  
足掻く【あがく】 もがく  
灯【あかし】 燈火 灯明 みあかし 「あかしつくる」  
証【あかし】 証明 証拠  
赤すかべい【あかんべー】 赤目 ②反目の仕種  
赤恥【あかはぢ】 人前で大恥をかく  
贖ふ【あがなう】 弁償する 償う  
崇む【あがむる】 崇拜する 尊敬する  
顎【あぎ】 あご 顔の下部  
厭き倦む【あぐむ】 飽きる 持て余す  
商ひ【あきにゃー あきねー】 商売  
諦む【あきらむる】 諦める  
呆る【あきるる】 呆れる  
開く【あく】 開く  
飽く【あく】 飽きる  
灰汁【あく】 野菜から出る渋い液  
悪業【あくごう】 報いを受ける様な悪事  
悪性【あくしゃ】 迷惑 厄介 辟易する 「あくしゃうつ」  
悪態【あくたう】 悪口雑言を言う  
悪どし【あくどか】 あくどい 諄い しつこい  
揚ぐ【あぐる】 揚げる 油に浸して煮る  
挙ぐ【あぐる】 挙げる  
胡座【あぐら】 足座 安座 「あぐらかく」  
揚げ足【あげあし】 ことば尻を取る

挙げ句【あげく】 最終的に

明け暮らす【あけくらす】 月日を送る

論あげつらふ【あげつらう】 議論する 煽おだててる

明け六つ【あけむつ】 朝6時の鐘

上げ申す【あげもす】 差し上げる 供える

あけらかん【あつけらかん】 平然とした様子

顎あご【あごた あごたん】 顔の下部

朝駆け【あさがけ】 早朝 早朝に事を済ます

嘲あざける【あざくる】 あざ笑う 人を小馬鹿にする

朝あさ東風【あさごち】 朝吹く東風

朝立ち【あさだち】 早朝家を出る ②勃起する

明あきつて後日【あさって】 明後日

朝あさつぱら腹【あさつぱら あさつぱち】 早朝 ②朝食前

字あざな【あざな】 愛称 通称

糾あざなう【あざなう】 縄を縛う 撚り合わせる

朝な夕な【あさなゆうな】 朝夕に 朝晩

浅はか【あさはか】 考えが浅い 浅薄 軽率 ②未熟

浅まし【あさましか】 卑劣だ 見苦しい 情けない

欺あざむく【あざむく】 裏切る 見くびる だます

あざれる【あざるる】 巫山戯ふざける ②飽きるほどに

漁あさる【あさる あしえる】 魚貝を採る ②探す 掻き回す

嘲笑あざわらふ【あざわるう】 軽蔑笑い

足掛あしかけ【あしかけ】 通算して 年月を跨がって 「あしかけ三年」

彼処あしこ【あしこ あすこ】 あそこ ②陰部

足継あしつぎぎ【あしつぎ】 踏み台 梯子

あしらあじろふ【あしらう】 待遇する ②取り合わせる

網代【あじろ】 漁場

預あすく【あずくる あつくる】 預ける

遊あせみずぶ【あすぶ】 好きなことをして楽しむ ②使用を止める

汗あせみず水【あせみず】 汗滴 汗みどろ

徒あた・あだ【あた】 悪戯する 邪魔する

仇敵あだがね賊【あだ】 仇敵 敵 ②仕返し 恨み

徒銀あだがね【あだがね】 無駄金

徒口あだぐち【あだぐち】 無駄口

徒事あだごと【あたこと】 悪戯 邪魔

婀娜あだ白し【あだじろか】 妖艶な白さ なまめかしい白さ

徒銭あだぜん【あだぜん】 無駄金

徒付あだちいてく【あだちいて】 浮気心を起こして 浮ついて

渾名あだな 徒名あだな 仇名あだな 綽名あだな 【あだな】 愛称 通称

徒花あだばな【あだばな】 結実しない花 ②叶わぬ恋

あちこち  
彼方此方【あっちこっち】 あちらこちら 処々方々

扱ふ【あつかう】 物を使う

あす  
預く【あづくる】 預ける

あつたら  
借し【あつたらしか】 惜しい 勿体ない

集む【あつむる】 集める

あつら  
誂ふ【あつらゆる】 誂える order ②注文する 依頼する

当つ【あつる】 当てる 割り当てる 言い当てる

当て【あて】 目的 見込み 頼み ②小楯 ③酒の肴

あてが  
宛行ふ【あてがう】 割り当てる 与える ②添えて導く

あてが  
宛行ひ【あてぎゃー】 割り前 仕事分担

あてがい ぶ ち  
宛行扶持【あてぎゃーぶち】 割り前 仕事分担

後絶ゆ【あとだえ】 後絶え 継承者が居なくなる

後腹【あとばら】 出産後の腹 ②一段落した後

あなが  
強ち【あながち】 一概に

あなど  
侮る【あなどる】 軽く見る 見下げる

あば  
荒ら屋【あばらや】 荒れ果てた家 ②自宅の謙称

暴る【あばるる】 乱暴する

あ  
浴ぶ【あぶる】 浴びる ②体に受ける 被る

あぶく  
泡【あわぶつく】 泡粒

浴す【あぶする】 浴びせる

あふ  
仰のく【あおなく】 仰向く 上を向く

あぶ  
焙り籠【あぶりこ】 魚などを焼く金網

炙る 焙る【あぶる】 火にかざして軽く焼く

あふ  
溢る【あふるる】 溢れる

あ  
和へ物【あいもん】 和え物

阿呆【あほ】 fool 馬鹿

雨打【あまうち】 雨落 雨内 軒下

あまかは  
甘皮【あまがわ】 木や果実の内側の薄い皮

雨乞【あまごい】 神仏に降雨を祈願する

あまつさ  
剩へ【あまつさえ】 その上

あまね  
遍し【あまねく】 広く一般に

あやか  
肖る【あやかる】 優れた人に感化して似る

あゆ  
歩ぶ【あいぶ】 歩く

あ  
落ゆ【あゆる】 落果 ②落雷 ③降雨 ④汚れが落ちる

あらあら  
粗々【あらあら】 大雑把 ②殆ど

荒くまし【あらくましか】 荒っぽい

あらた  
灼か【あらたか】 神仏の靈験が著しい

有らぬ【あらんこつ】 関係無いこと

か  
有り処【ありか】 物の在る処

有り難し【ありがたか】 有り難い

有り切り【ありきり】 全部  
歩く【ありて】 歩く 「ありっさるく」  
有り様【ありさま ありよう】 実際 ありのまま  
彼【あれ】 奴 ②あそこにある物  
会わす【あわする】 会わせる 面会させる  
合わす【あわする】 合わせる 同調する ②混合する  
慌つ【あわつる】 急く  
安閑【あんかん】 安気で  
安気【あんきか】 気楽 呑気 心配ない  
あんぢょう【あんじょう】 首尾良く 具合良く  
塩梅【あんびゃー】 塩加減 ②程合い ③体調  
結ひ【いー】 結い ②労働力の相互扶助  
言うともなし【いうともなか】 言いたくもない  
言ふ舞ひ【いうみゃー】 言わないことにしよう  
如何様【いかさま】 偽物 いんちき 誤魔化し  
啜む【いがむ】 言い争う 罵る ②獣の威嚇発声  
歪む【いがむ ゆがむ】 歪む ねじれる  
厳し【いかめしか】 威厳がある  
生き上がる【いきあがる】 生き返る 甦る  
行き遭わす【いきあわせる】 遭遇する  
行き掛け【いきがけ】 行く途中  
行き過ぎ【いきすぎ】 通り越す ②度を超す  
息急き【いきせっきって】 息を切らして  
行き着く【いきつく】 目的地に到着する 到達する  
行き詰まる【いきづまる】 解決法が無くなる  
息詰む【うけづむ】 息む  
生き恥【いきはぢ】 人生上の恥辱  
行きやしょう【いきやっしゅい】 行きましょう  
行きやる【いかる】 お行きになる 〔行く〕の敬語  
息詰む【うけずむ】 息む 力む  
井川【いごう】 湧水井 井戸  
潔し【いさぎよか】 手早い ②思い切りがよい  
石敲き【いしたたき】 鶴鴿  
虐む【いじむる】 苛める  
抱く【んだく】 抱擁する 抱える  
病む【いたむ】 病氣する 傷つく  
出づ【いづ づる】 出る 外へ行く 現れる  
一家【いっけ】 親族  
一向に【いっこうに】 一向に 一途に 只管  
一切【いっさい】 全て 残らす

いち  
一【いち】 一番 一等 最も 最高 「いちよか」  
いちようら  
一張羅【いちようら】 晴れ着  
いっとき  
一時【いっとき いっどき】 ひととき 瞬時 ②同時に  
いな  
否【いんにゃ】 否違う  
いまいま  
今々【いまいま】 今し方  
いましめ  
戒め【いましめ】 懲らしめ  
いぬ いぬ  
去ぬ 往ぬ【いぬ いぬる】 行ってしまう  
いや  
卑し【いやしか】 食い意地が汚い  
いらいら  
苛々【いらいら】 気が急ぐ  
いら  
弄ぶ【いらう いじる】 弄る 弄ぶ 触る  
いりめ  
入り目【いりめ】 経費 出費 費用  
いる  
入る【いる】 入れる  
い  
炒る 煎る【いる】 炙り焦がす ②虐める  
いんぐわ  
因果【いんぐわ】 原因と結果  
いを  
魚【いを】 活魚  
うえなし  
上無し【うえなし】 最上  
うきよ  
浮き世 憂き世【うきよ】 この世 無常の世  
うくる  
受く【うくる】 受ける  
うさんくさ  
胡散臭い【うさんくさか】 怪しい  
うじこ  
氏子【うじこ】 氏神を守る土地の人々  
うしみつどき  
丑三つ時【うしみつどき】 午前二時頃  
うしろめたか  
後ろめたし【うしろめたか】 後ろめたい やましい  
うしつる  
失す【うしつる】 捨てる 無くする  
うずむる  
埋む【うずむる】 埋める  
うすわる  
微笑ふ【うすわるう】 嘲り笑う  
うしえろ  
失せる【うしえろ】 立ち去れ 出ていけ 帰れ  
うだ  
抱く【んだく】 抱く  
うた  
転た寝 仮寝【うたたね】 仮眠  
うちかやす  
打ち返す【うちかやす】 耕す ②繰り返す 病気が再発する  
うぢがみ  
氏神【うぢがみ】 生まれた土地の守り神  
うちしき  
打ち敷き【うちしき】 仏壇の敷物  
うちぶしん  
内普請【うちぶしん】 家の内部改装  
うちまき  
打ち撒き【うちまき】 神事でお祓いの散米  
うちまたごうやく  
内股膏薬【うちまたごうやく】 定見のない人 両天秤  
うっとうしい  
鬱陶し【うっとうしい】 陰鬱だ  
うつぶ  
俯す【うつぶする うつぶせる】 腹這う ②下向きになる  
うつらうつら  
現々【うつらうつら】 浅い眠り まどろみ  
うつり  
移り【うつり】 贈り物に対する返礼の品 お返し  
うつりか  
移り香【うつりか】 移り香  
うつろ  
空【うつろ】 空洞

疎い【うとか】 知識が乏しい ②疎遠  
項【うなじ】 襟首  
己【うな】 己 自分 ②相手を呼び捨てにする卑語  
産土【うぶすな】 郷土の守護神 氏神 鎮守《日  
郁子【ウベ ムベ ンベ】 アケビ科常緑蔓性低木  
甘し【うまか】 美味しい  
生まる【うまるる】 生じる 誕生する  
生れ在所【うまれざいしょ】 生誕地  
海辺【うみべた】 海岸  
埋る【うむる】 埋める  
呻く【うめく】 苦しみで唸る  
植ゆ【うゆる】 植える  
末【うら】 梢  
うらぶる【うらぶるる】 わびしい  
恨めし【うらめしか】 恨みに思う  
潤ひ【うりー】 慈雨  
瓜実顔【うりぎねがお】 色白で細面の顔  
瓜坊【うりぼう】 猪の子ども  
憂ふ 愁ふ【うれう】 嘆く  
うろうろ【うろうろ】 疑わしい ②歩き回る  
胡乱【うろんころん】 不審 怪しい ②彷徨する  
蟒蛇【うわばみ】 大蛇  
己 汝【うん】 [君は] の (卑語) 貴様 お前  
永劫【えいごう】 極めて長い間  
要なし【ようなし】 お役御免 役に立たない  
依怙地【えこじー】 片意地  
依怙最肩【えこひいき】 片方だけを最肩する  
得知れぬ【えしれん】 至らない  
えずい【えずい えずか】 怖い ひどい ②醜い  
似非【えせ】 偽物  
似非笑う【えせわるう】 嘲り笑う せせら笑う  
肢【えだ】 四肢 手足 肩  
肢骨【えだぼね】 手足の骨 肩の骨  
得手【えて】 最も得意なこと  
得手勝手【えてかって】 自分勝手 我が儘  
胞衣【えな】 胎児を包む膜 胎盤  
縁【えにし えん】 縁 縁 縁故  
衣紋掛け【えもんかけ】 衣桁 ハンガー  
偉い 豪い【えらか】 身分や地位が高い  
生し上ぐ【おうしあぐる】 育て上げる 育成する

わうじゃう

往生【おうじょう】 死ぬ

横着【おうちゃく】 横柄

わうだう

横道【おうどか】 横着で乱暴

仰のく【おうなく】 仰向く

可笑し【おかしか】 可笑しい 滑稽だ ②不味い

おかべ

御壁【おかべ】 豆腐

おきび

燠【おき】 炭火

燠る【おきる】 着火する ②勃発する ③起動する

おぐし

御髪【おぐし】 頭髮 髪の毛

奥手【おくて】 遅咲き ②晩稲

おこわ

強飯【おこわ】 赤飯

をさ

長【おさ】 代表者

を

惜し【おしか】 惜しい

お仕着せ【おしきせ】 奉公人に与える衣服

押し付く【おしつくる】 押し付ける

押し並べ【おしなべて】 総じて

教ゆ【おしゆる】 teaching 知識や技術を取得させる

遅し【おそか】 遅い

御陀仏【おだぶつ】 死ぬこと

怖づ【おずる】 怖じ気る

押し遣る【おっしゃる】 先に延ばす

追っ付け【おっつけ】 やがて 間もなく

押っ取る【おっとる】 奪う 取り上げる

驚かす【おどかす】 驚かす 相手をびっくりさせる

おどれ

己【おどれ おどりゃ】 「お前」の卑語

おどろ

驚し【おどろしか】 恐ろしい 怖い

にようご

女御【おなご】 女性

御初穂【おはつお】 神仏へ供える初物の収穫物

おほ

生し上ぐ【おおしあぐる】 一人前に育て上げる

生ほす【おおす】 養育する 手を尽くして育てる

おほ

果す【おおす】 果す 成し遂げる 「逃げ果す」

おほ

仰す【おおせ】 仰る

おぼつかなし【おぼつかなか】 頼りない 気がかりだ

おほやう

大様【おほやうか】 おおらか 寛大 拘らない

覚ゆ【おぼゆる】 覚える

おまえ

御前【おまえ】 神仏や貴人の前 ②仏間の前 ③あなた

おみ

大御おつけ【おみおつけ おつけ】 味噌汁

をめ

喚く【おめく おらぶ】 大声で叫ぶ

おもね

阿る【おもねる】 追従する おべっかを使う

おもや

母屋【おもや】 本家

親里【おやざと】 実家  
生ゆ【おゆる】 生える  
御入りやる【おらる おりやる】 「居る」の上代敬語  
折る【おるる】 折れる 曲げて切り離す ②気持ちを抑える  
下る【おるる】 下りる ②金が支給される  
降る【おるる】 乗り物から降りる  
おろ【おろ】 不良 不都合  
おろ覚え【おろおぼえ】 うろ覚え  
おろよし【おろよか】 善くない 悪い 粗末 粗悪  
御坐おはさぬ【おらっさん】 「居ない」の上代敬語  
御坐おはす【おらす】 「居る」の上代敬語  
生はる【おわる】 芽生える 生じる  
開枕【かいちん】《梵語》 就寝時刻 午後九時  
鼻かか【かか かかあ】 「家内」の卑語  
掛り湯【かかりゆ】 上がり湯  
抱へる【かかゆる】 雇う 賄う ②妊娠する 庇護する  
搔きたくる【かきたくる】 しきりに搔く  
欠き餅【かきもち】 切り餅  
欠く【かぐる】 欠ける  
囲かくふ【かくう かこう】 匿かくまう 隠す 貯蔵 ②妾にする  
匿かくまふ【かくまう】 隠匿する  
掛け合ひふ【かけあう】 折衝とする  
掛け樋【かけい】 水を引く樋  
陰膳【かげぜん】 密かに安全祈願の靈膳を供える  
掛け矢【かけや】 木槌  
加減【かげん】 程度  
水夫【かこ】 乗船員  
屈かこむ【かがむ かごむ】 屈かがむ しゃがむ 腰を曲げる  
託かこつく【かこつくる】 難癖つける  
瘡【かさ】 腫瘍  
風穴【かざあな】 風通し  
挿頭かざし【かざし かざし餅】 飾り餅 ②餡なしの餅  
重ね【かさぬる】 重ねる  
炊かしき【かしき】 炊事  
畏かしこ【かしこか】 恐れ多い 尊い  
潜かすく【かすく】 潜水する 水に潜る  
掠かすむ【かすむる】 掠める 盗む 奪い取る  
貸す【かする】 人に使わせる 力や知恵を与える  
掠かする【かする】 引っ搔く  
数ふ【かぞゆる】 数える

かた  
瀉【がた】 干瀉 遠浅  
かたぶ  
傾く【かたぶく】 傾く ②衰退する  
かた  
担ぐ【かたぐる】 担う 背に負う  
片一方【かたいっぽ】 一対の片方  
かたぶ  
傾く【かたぶく】 傾く  
かち  
徒【かち かちあるき】 徒歩  
且々【かつがつ】 片っ端 次々に  
語る【かたる】 話す  
傍ら【かたわら】 側 側近  
傍ら痛し【かたわらいたし】 側にいて心苦し  
かち  
徒【かち かちあるき】 徒歩 歩く  
かち  
徒荷【かちに】 手荷物  
かつえ  
餓る【かつれる】 腹が減る  
且且【かつがつ】 次々に  
かつ  
糲て【かっくう】 添えて食べる  
か  
糲て飯【かてめし】 野菜を混ぜた炊き込みご飯  
がつい  
がてり【がてりゃ】 序でに  
合点【がてん がってん】 納得 同意 承諾  
かどわか  
誘拐す【かどわかす】 誘拐する だます  
叶ふ 適ふ【かなう】 思い通りになる  
金縛り【かなしばり】 体の硬直  
兼ね合ひ【かねあい】 釣り合い  
予ねて【かねて】 予め 前もって  
かぶ  
蕪【かぶ かぶら】 菘 ナズナ  
かぶ  
傾く【かぶく】 傾く ②頭(穂)を垂れる  
かぶり  
頭【かぶり】 頭 「頭振る」  
かぶ  
被る【かぶる】 頭を覆う ②被害を蒙る ③責任を取る  
かま  
構へ【かまえ】 家の構造物 門 垣  
框【かまち】 建具の化粧枠  
上座【かみざ】 上席 貴賓席  
髪文字【かもじ】 (女御言葉) 髪 ②添え髪  
絡繰り【からくり】 仕掛け 装置  
からうと からひつ  
屍櫃 空櫃【からと】 神を祀る石の 祠  
から  
乾ぶ【からぶる】 乾く 乾燥する ②種痘が乾く  
かり上ぐ【かりあぐる】 絡げ上げる  
枯る【かるる】 枯れる  
かるふ【かるう】 背負う ②負担する  
皮切り【かわきり】 最初のお灸 ②行事の最初  
かはわらわ・かはわっぱ  
河 童【がわっぱ】 河童  
かはや  
厠【かわや】 雪隠 便所

かはらけ

土器【かわらけ】 素焼きの土 ②無毛の性器

寒晒し【かんざらし】 寒気に晒す

堪忍【かんね かんねん】 勘弁 御免

葱【ともじ】 ※(一文字) 葱ねぎ 小葱 分葱

帰依【きえ】《梵語》 神仏を信仰する

聞かす【きかす】 (上代敬語) 聞かれる お聞きになる

聞き合はす【ききあわする】 色々聞いて考え合わせる

聞き繕ふ【ききつくろう】 よく聞いて検討する

利ける【きくる】 効能がある

聞こゆ【きこゆる】 聞こえる

気根【きこん】 根性が座っている

気散じ【きさんか】 構わない ②呑気

気色【きしょく】 気分 顔色

軋む【きしる】 擦れ合う こする

着す【きする】 着せる

鍛ふ【きたう】 鍛える

汚し【きたなか】 汚い 不潔

北枕【きたまくら】 枕を北にして寝る

きつい【きつか】 苦痛 つらい

切っ端【きっぱし】 先端

来と来【きとく】 来を重ねて強調する 来て待っている

木戸口【きどぐち】 入口の扉

黄ばむ【きいばむ】 黄色を帯びる

気骨【きぼね】 気苦労 心配

気の毒【きのどっか】 気の毒だ

肝煎り【きもいり】 仲介 世話

肝煎る【きもいる】 仲介する 世話する

肝潰す【きもつぶす】 仰天する 驚く

脚達【きやたつ】 踏み台 足継ぎ

脚絆【きやはん】 脛に巻く布

消ゆ【きゆる】 消える

仰山【ぎょうさん】 たくさん 多く

行水【ぎょうずい】 水で体を清める

仰らし【ぎょうらしか】 仰々しい

局る【きよくる】 冷やかす

切らず【きらず】 雪花菜 卵の花 豆腐のかす

限々【ぎりぎり】 極限

切り盤【きりばん】 俎まないた 俎板

愚らし 暗し【ぐうらしか】 哀れだ 可哀相だ

潜る【こぐる】 物の下を抜けて通る ②もぐる

く  
締める【くめる】 縫い目を隠し縫いする  
臭し【くさか】 臭い ②疑わしい  
くさ  
鍵る【くさる】 果物が鈴生りしている  
くさ  
鍵る【くさる】 連なる ②鈴生りになる  
くじ  
決る【くじる】 決る 穿る  
くすぶ・ふすぼ  
燻り【くすぶり】 燻り 煤け  
くすぶ・ふすぼ  
燻る【くすぼる】 燻る 燃えないで煙る  
くすねる【くすぬる】 猫婆する  
崩る【くずるる】 物が壊れる  
くせもの  
曲物【くせもん】 怪しい者  
くたくた【くたくた】 元気がなくなる  
下す【くだす】 下痢する 決定する  
くたび  
草臥れ【くたぶれ】 疲れ  
口惜し【くちおしか】 口惜しい  
口ぎたなし【くちぎたなか】 言葉が下品 ②食い意地が張る  
口切り【くちぎり】 食事制限 食断ち  
口叩く【くちたたく】 饒舌  
くちなは  
蛇【くちなわ】 朽ち縄 蛇  
くつさめ  
嚏【くしゃみ】 くしゃみ  
くど  
竈突【くど】 竈 料理の煮炊きするところ  
曲る【くねる】 体を捻じる  
くび  
縊る【きびる くびる】 括る 結ぶ 結わえる  
窪む【くぼむ】 **become hollow** 凹む  
くま  
隈無し【くまなし】 抜かりなく  
工面【くめん】 工夫 **device** 遣り繰り  
くもつ  
供物【くもつ】 神仏の供え物  
くやく  
公役【くやく】 奉仕作業 公課作業 課役  
悔し【くやしか】 口惜しい  
崩ゆ【くゆる】 崩壊する 朽ちる ②腐れる  
喰らう【くろう】 飲食する ②身に受ける  
暗がり【くらがり】 暗いところ  
くらすみ  
暗隅【くらすみ】 暗がり 暗いところ  
くらはす【くらわす くら一する】 殴る 打つ 叩く  
く  
庫裏 庫裡【くり】《梵語》 寺院の台所  
くりや  
厨【くりや】 台所 厨房  
呉る【くるる】 呉れる 与える 差し上げる  
暮る【くるる】 暮れる  
くれ  
樽【くれ】 原木 丸太  
暮れ六つ【くれむつ】《梵語》 暮れの六時に打つ寺の鐘  
くわいせき  
会席【くわいしえき】 会席料理の略

懐中【くわいちゆう】 懐中 懐  
菓子【くわし】 お菓子  
火事【かじ くわじ】 火事  
加はり【くわわる】 共同作業 労働交換  
過分【かぶん くわぶん】 程度を超える 必要以上  
加ふ【くわわる】 加担する 参加する 仲間に入る  
果報【かほう くわほう】 因果応報 善い報い  
勸進【かんじん くわんじん】 托鉢修行の僧侶 ②乞食  
罐子【かんす くわんす】 お湯を沸かす器具  
袈裟懸け【けさがけ】 斜めに紐を掛ける  
下作【げさつか】 品格が劣っている  
怪しからぬ【けしからん】 不届きだ 許せない  
褒 褒稲【けしね】 自家用穀物 「けしねぼり」  
下種 下衆【げす】 卑しい者 身分が低い者  
解せぬ【げせん】 理解できない 納得できない  
卦体【けたい】 風変わり 奇妙  
けつかる【けつかる】 [ある 居る] の卑語  
外道【げどう】 卑しい奴  
今日【きゆう】 本日  
煙たし【けぶたか】 煙たい  
煙【けぶり】 煙  
げな【げな】 …らしい  
気に叶わぬ【げにかなわん】 力量不足  
験【げん】 霊験 効験 「験担ぎ」  
現当【けんとう】 縁起  
げんなり【げんなり】 気力がなくなる  
業【ごう】 前世の報いをこの世で受ける  
巧者【こうしゃか】 利口者だ 賢い 気が利いている  
講釈【こうしゃく】 教義の意味を解く ②屁理屈  
口銭 貢銭【こうせん】 手数料 仲介料  
公道【こうとか】 地味 質素 ②身持ちがよい  
寄生虫【ごうな】 郷なし 宿借り ヤドカリ  
香ばしい【こうばしか】 香りがよい  
こかす【こかす】 倒す ②落とす ③だます  
焦がる【こがるる】 焦げる  
御器【ごき】 木椀 食器  
小切る【こぎる】 魚を料理する ②値切る  
御供【ごつくさま】 神仏への供え物 佛飯  
扱ぐ【こがす】 根から掘り起こす 根扱ぐ  
穀断ち【こくだち】 穀類を食べないで願を掛ける

柿【こけら】 きくず 木屑 こけら板の略 →こけら落し  
転ける【こくる】 転倒する 落ちる  
子子し【ここしか】 おっとりして優しい  
小言【こごと】 不平 苦情  
心安し【ここりやすか】 心安い  
小賢し【こさかしか】 油断ならない  
刮ぐ【こさぐ】 削りそぐ 削ぎ取る  
御座あり【ござりやす ござす ござっす】 ございます  
古参【こさん】 古くから仕えている人  
輿入れ【こしいれ】 嫁の輿を入れる 嫁入り  
甑【こしき】 古式の蒸し器 蒸籠 酒仕込樽  
腰巾着【こしぎんちやく】 上役に従属する人  
小癩【こしゃく】 生意気  
後生大事【ごしょうだいじ】 物を大切にする  
拵へる【こしらゆる】 調理する ②支度する  
御仁【ごじん】 お人 お方  
狡し【こすか】 悪賢い  
御前【ごぜんさま】 貴人の敬称  
撥る【こちよぐる】 撥る  
こそばゆし【こそばいか こちよわいか】 くすぐったい  
挙る【こぞる】 揃って  
堪ふ【こたう】 耐える 我慢する  
御託宣【ごたく】 勿体ぶる くどい  
如し【ごたる】 ごとくある  
東風【こち】 東から吹く風  
五体【ごちや ごてえ】 胴体両手両足 ②背中  
御馳走【ごっつお】《梵語》 振舞い もてなし  
ごつい【ごつか】 無骨でヤボ 頑固  
小作り【こづくり】 小柄  
特負【こって牛】 牡牛 役牛  
事欠く【ことかく】 不自由する  
事欠かぬ【ことかかん】 充足する 間に合う  
五徳【ごどく】 鉄瓶を乗せる三脚の鉄輪  
事毎【ごとごと】 たびたび 事あるたび  
事足る【ことたる】 満足する  
託く【ことつくる】 托品 ②伝言  
託け 言付け【ことつけ】 言伝 伝言  
事難し【ことむつかしか】 事態が面倒  
熟す【こなす】 熟成する ②処理する 消化する  
粉糠【こぬか こんか】 米の糠

媚ぶ【こびる】 媚びる  
こぼる【こぼるる】 零れる  
こまか【こまんか】 細かい 些事 小さい  
こまごつ【こまごつ】 取るに足らないこと  
こむらがえり【こむらがえり】 ふくらはぎの麻痺  
ごもく【ごもく】 塵埃  
こやつ【こやつ】 此の奴 [この人] の卑語  
肥ゆ【こゆる】 体が肥満になる ②良さが分かる  
越ゆ【こゆる】 通り過ぎる  
来らすまい【こらすみゃ】 [来ないだろう] の敬語  
これはこれは【これはこれは】 これはありがとう  
頃合【ころあい】 適当な時期 潮時  
こはいひ【こはいひ】 強飯【こわい】 米や糯を蒸したご飯  
こはだか【こはだか】 声高【こわだか】 大きな声 大声  
こはば【こはば】 強張る【こわばる】 硬直する 固まる  
こん【こん】 献【こん】 酒杯や魚を数える単位  
根性腐り【こんじょんくさつとる】《梵語》 性根が悪い  
こんた【こんた】 此人  
細工【さいく】 仕事 ②仕業  
賽の河原【さいのかわら】 三途の川原 無駄骨  
盛し【さかし】 盛しい 元気だ 壮健 達者  
驚足【さがし】 下げ足 竹馬  
さか【さか】 賢し【さかしか】 小賢しい  
さか【さか】 険し【さがしか】 険しい  
さかとんぶり【さかとんぼ】 逆立ち 倒立  
逆振【さかねじ】 逆襲する やりこめる  
先走り【さきばしり】 でしゃばり ②主人の前を走る使用人  
下ぐ【さぐる】 下げる  
さくびょう【さくびょう】 作病【さくびょう】 仮病  
雑魚寝【ざこね】 男女が入り交じって寝る  
ささほうさ【ささふうさ】 ごったがえし  
ささめく【そそめく】 小声で話す 囁く ひそひそ話す  
ざざめく【ざざめく】 がやがや騒ぐ ざわざわ どよめく  
ささら【ささら】 簾【しゃーら】 竹束子 ②尖ったもの 刺  
差当り【さしあたり】 当面 とりあえず  
差し担ひ【さしいにゃー】 二人担い  
差し掛く【さしかくる】 上からかざす  
差詰め【さしづめ】 結局  
差し詰まる【さしつまる】 切迫する  
さしでがまし【さしでがましか】 お節介

差し出口【さしでぐち】 余計な口出し  
差し合い【さしやー】 支障 差支え  
差し遣る【さしやる しゃっしやる】 差し出す  
雑っと【ざっと】 雑に 大雑把に  
早苗饗【さなぼり】 田植え後の宴  
共寝【さね】 同衾 男女が共寝する  
核・実【さね たね】 果実の実 ②壁下地 ③陰核  
捌くる【さばくる】 捌ける 能率が上がる ②敏腕 ③完売  
多々【そうそう】 頻繁ではない 再三  
多にや【そうにや】 たくさんに かなり  
鯖読み【さばよむ】 数をごまかす  
狭間【さま】 外を見る小窓  
然も【さも】 如何にも  
さもあらばあれ【さもあれ】 ともかく それにしても  
さもしい【さもしか】 意地汚い ②見苦しい ③卑劣だ  
座元【ざもと】 行事の主催者  
新【さら】 新品 ②処女  
木杷【さらへ】 土や沼を掻き取る農具  
新湯【さらゆ】 一番風呂  
去る来【さるく】 歩き回る 彷徨する 散歩する  
然り気無し【さりげなく】 何気なく 平然と  
され【されば】 だから であるから  
戯言【ざれごつ】 冗談  
騒々【さわさわ】 取り込み中 ごった返し  
障り【さわり】 支障  
散々【さんざん】 はなはだしい 酷い  
算用【さんじょう】 計算 勘定  
舢板【さんばん】 舢 岸と本船を結ぶ小型の渡し舟  
為得ぬ【しいえん】 出来ない  
仕入れる【しいるる】 買入れる 仕込む  
潮合ひ【しおあい】 潮時 程合い  
仕置【しおき】 お仕置 成敗  
潮垂る【しよたるる】 潮解する ②活気がない  
塩鹹し【しおはいか】 塩っぱい 塩辛い  
萎らし【しおらしか】 健気だ 控え目  
萎る【しなぶる】 生気がなく萎む  
確と【しかと】 確かに  
止観花【しかんばな】 葬儀で霊前に供える造花  
直【じき】 直ぐに 即刻  
頻り【しきり】 頻りに 頻繁に

仕切る【しきる】 区画する 仕事を切り回す  
地下【じげ】 在所 地元 「地下ン者」  
しき【しこ】…程 …だけ …ばかり 「ぎやしこ」  
醜名【しこな】 仇名 力士の呼び名  
為熟す【しこなす】 処理する 仕事を仕上げる  
仕込む【しこむ】 容器に材料を入れる ②躡ける 訓練する  
雫【しづく】 滴 水の滴り  
したことが【したことが】 …ともあろう者が  
仕出す【しだす】 し始める ②する時間がある  
したたか【したたか】 ひどく 強く 甚だしく  
濺む 漉む【したむる すたむる】 水滴を切る  
七面倒【しちめんどうか】 面倒くさい 煩わしい  
竹篋【しっぺ すっぺ】 禅家の修行に使う竹製の杖 ②爪弾き  
卓袱【しっぽく】 中国式食卓 ②卓袱料理  
為出かす【しでかす】 してしまう やってのける  
糰【しとぎ】 神前へ供える糯米の団子  
為成す【しなつす】 なさる ②作るあげる  
撓垂る【しなだるる】 撓垂れる  
撓ぶ【しなる】 撓む  
為習ふ【しならう】 仕方を習う  
死に金【しにがね】 無駄金  
自然蓆【じねんじょ】 山芋  
忍ぶ【しのぶる】 包み隠す 始末する 片づける  
忍べ【しのべろ】 包み隠せ 片付ける  
しはぶる【しわぶる】 舐めて吸い取る  
時分【じぶん】 時間帯 頃 時期  
虐ぐ【しへたぐる】 責める いじめる  
仕舞ふ【しまう】 終える ②収納する ③食事する  
始末【しまつ】 片付ける 処理 儉約する  
染みつく【しみつく】 深く染み込む ②忘れ難い  
湿し【しめし】 おむつ おしめ  
借錢【しやくせん】 借金  
じゃじゃばる【じゃじゃばる】 我を通す  
洒落る【しやるる】 wit 気の利いたことを言う ②めかす  
宗旨【しゅうし】 sect 宗派 宗門  
入水【じゅすい】 入水自殺  
雫【しづく】 滴 水のしたたり  
萎む【しぼむ】 水分を失い萎む 干涸びる  
術無し【じゅつなかり】 心苦しい やりきれない  
戯ける【じょうくる ぞうくる】 戯れる ふざける

しょうぐわつ  
正月【しょうぐわつ】 正月  
じょうご  
上戸【じょうご】 酒豪  
しょうし  
笑止【しょうし】 気の毒 ②滑稽  
じょうず  
上手【じょうず】 巧み 達人  
しょうつき  
祥月命日【しょうつき】 一周忌以後の命日 正忌  
しょうね  
性根【しょうね】 根性 心根  
しょうばん  
相伴【しょうばん】 接待 接客 ②お節介  
しょうもようなか  
仕様模様【しょうもようなか】 どうしようもない  
しよしき  
諸式【しよしき】 諸物価 ②諸物品  
しよせん  
所詮【しよせん】 結局 つまり  
しよたれ  
塩垂れ【しよたれる】 潮解する ②活気がない  
しよて  
初手【しよて】 最初  
しよのむ  
嫉む【しよのむ】 妬む 嫉妬する  
しよむ  
染む【しよむ】 色や匂いが移る  
しよもうさす  
所望す【しよもうさす】 要求する 求める 望む  
しなだ  
撓垂る【しなだるる】 締まりがなくだらけている  
しらあえ  
白和へ【しらあえ】 豆腐を入れた味噌和え  
しらかす  
白かす【しらかす】 白けさせる 興ざめさせる  
しらじらしか  
痴れ痴れし【しらじらしか】 白々しい 馬鹿の振りをする  
しらば  
白化ける【しらばくるる】 白を切る 知らぬ振りする  
しらふ しらふ  
白面・素面【しらふ】 素面 酒に酔っていない状態  
しらわりやー しらわれー  
痴れ笑ひ【しらわりやー しらわれー】 白笑い 嘲笑  
しりこぶら  
尻 臀【しりべた】 臀部  
しわざ  
仕業【しわざ】 為業 行為 所業 したこと  
しんしょう  
身上【しんしょう】 暮し 財産  
しんぜもす  
進ぜ申す【しんぜもす】 進呈する 差し上げる  
しんどか  
辛 勞【しんどか】 精神疲労 疲れる  
じんべん  
神変【じんべんか】 不思議な神の力 ②殊勝だ 奇特だ  
すいきょう  
酔狂【すいきょう】 酔狂する  
すえき すやき  
須恵器【すえき すやき】 素焼き 釉薬を掛けない陶器  
すえぜん  
据え膳【すえぜん】 食膳を整える 食事を接待する  
すかす  
透かす【すかす】 まばらにする ②放屁する  
すか  
賺す【すかす】 なだめ賺す 機嫌とる  
すがる  
蟻【すがね】 蟻  
すくば  
竦る【すくばる】 竦む 硬直する  
すぐ  
選る【すぐる】 選び出す 選り抜く  
すこたん  
すこたん【すこたん】 馬鹿 見当違い  
すこぶ  
頗る【すこぶる】 随分 かなり  
すき  
退る【すだる】 後退 退く 下がる  
すさわら  
寸莎藁【すさわら】 壁土に混ぜる藁

素性【すじょう】 素質 性格 血筋 育ち  
煤く【すすくる】 煤ける 煤に染みる  
濯ぐ【すすぐ】 水で洗い清める  
吸る【すする】 液体を吸い込む 鼻汁を吸い込む  
磨る【すたる】 無駄になる  
ずつ【ずつ】 等分量に分ける  
窄める【すぼむる】 狭める 縮める  
住み着いた【すみちいた】 定住した 永く棲む  
すめく【すめく】 呻く 呻き声を漏らす  
素戻り【すもどり】 何の用事も果さず帰る  
寸胴【ずんどう】 胴体にくびれがない  
すんなら【そんなら】 それでは ではまた  
ずんぶり【ずんぶり】 どっぷり びっしょり浸る  
所為【せい】 原因 もと  
せうことなし【しょうことなし】 仕方なく 止むを得ず  
せがむ【せがむ】 せびる 無理にねだる  
塞き詰む【せきつむる】 塞詰める 閉じこめる  
背切り【せぎり せこぎり】 骨ごと刺身する  
急く【せく】 急ぐ  
塞く【せく】 止める 閉じる ②激痛  
嘲笑ふ【せせらわるう】 嘲り笑う 冷笑  
折檻【せっかん】 厳しく責める 厳しく叱る《京》  
節季【せっき】 歳末 年の暮れ  
説経【せっきょう】 教義の説法 ②訓戒 教訓  
殺生【せっしょう】 生き物を殺す  
接待【せってや一】 施し 持て成し  
雪隠【せっちん】 便所 厠  
責付く【せつつく】 責め立てる ②催促する  
切なし【せつなか】 窮屈だ ②辛苦  
切羽詰まる【せっぱつまる】 抜き差しならぬ  
背戸家【せとや せどや】 裏の家  
せびらかす【せぶらかす】 からかう ひやかす  
競り合う【せりあう】 競い合う  
狭し【せばか】 狭い  
忙し【せわしか】 忙しい 余裕がない  
せびらかす【せぶらかす】 からかう 冷やかす《京》  
せびる【せびる】 責め取る せがむ ねだる  
狭し【せばか】 狭い  
闊ぐ【せめく】 恨む ②責め立てる  
銭【ぜん】 お金 貨幣

せよ【せろ】 しなさい

忙し【せわしか】 <sup>いそが</sup>忙しい

銭【ぜん】 お金 貨幣

疝気【せんき】 漢方 腸や腰の病 尿管閉塞症

先繰【せんぐり】 順番に 次第に

善哉【ぜんざい】 善哉餅の略《京》

詮索【せんさく】 細かい事を捜し出して調べる

族【ぞう】 族の音便 一族 「天草族」

筥 箆箭【しょうげ】 竹製の箆

総じて【そうじて】 概して 大概

総領【そうりょう】 跡取り 嫡子 長男

其処其処【そこそこ】 中途半端 いい加減

損ふ 害ふ【そこなう】 壊す し損じる

底無し【そこなし】 際限なし ②大酒のみ

傍り【そしり】 誹謗 非難 悪く言う

傍る【そしる】 非難する 悪く言う くさす けなす

損ず【そずる】 損なう 悪くする 傷む

濯ぐ【そそぐ】 **wash** 濯ぐ 洗い流す

そそくる【そそくる】 弄ぶ ②修繕 修理する

そそかし【そそっかしか】 挙動が慌ただしい

そつ【そつ】 手抜き 手落ち 無駄

袖にす【そで一する】 粗末にする ②いい加減にする

袖乞ひ【そでごい】 物貰い ②乞食

備へ【そなえ】 用意 準備

そ引く【そびく】 無理に引っ張る

聳ゆ【そびゆる】 聳える 高く立つ

素振り【そぶり】 **air** 挙動 動作

背く【そむく】 反対する 従わない

染む【そむる】 染める 色づく 馴染む

騒ぐ【そめく】 騒ぐ

作麼生【そもさん】 さあどうだ 如何に (仏教語)

抑も【そもそも】 さて 元々 元来

其奴【すやつ そやつ】 其の奴 [その人] の (卑語)

嫉む【しよねむ しよのむ】 嫉妬する 妬む 羨む

空言 空虚【そらごつ】 虚言 嘘 偽り言

諳んず【そらんずる】 暗記している 暗唱する

某【それがし】 誰其れ 何がし ②私

ぞんざい【ぞんざい】 無礼 粗末 いい加減

其の定【そんじよそこら】 その周辺

大往生【だいおうじょう】 見事な死に際

大儀【たいぎ】 重大な儀式 ②ご苦労  
対々【たいたい】 対等で  
松明【たいまつ】 松脂を炊いて照明にしたもの  
逮夜【たいや】 命日の前夜  
手植え 田植え【たうえ】 稲苗を植え付ける  
手折る【たおる】 手で折る ②手込めにする  
撓む【たおる】 弓状に曲がる  
箍【たが】 桶の輪  
違ふ【たがう】 違う ②約束を破る ③関節がずれる  
高枕【たかまくら】 安眠 熟睡する  
集る【たかる】 虫などが群れる  
集る【たぎる】 煮え立つ 沸騰する  
貯う【たくう たくわゆる】 貯蔵する  
手繰る【たぐる】 手元へ引き寄せる 「たぐりよする」  
酎【たけなわ】 真っ最中  
啜る【たける】 うめく 唸る 声を出して苦しむ  
担桶【たご】 担い桶 「肥え担桶」  
確か【たしきや】 確実に 間違いなく  
足し無し【たじなな】 物が不足する 乏しい  
嗜む【たしなむ】 好んでする ②慎む  
他所【たしよ】 余所 別の所  
徒事【ただごと】 普通でないこと 尋常でないこと  
祟り【たたり】 呪い 悪事の報い 災い  
立ち竦む【たちすくむ】 立ったまま動けない  
立ち所に【たちどころに】 直ちに その場で  
立ちはだかる【たちはたがる】 手足を広げて立つ  
たぢろく【たじろぐ】 ひるむ 尻込みする  
駄賃【だちん】 労働報酬 「だちんとっどん」 労務者  
達者【たっしゃか】 壮健 元気  
手綱【たづな】 馬の轡につけて馬を操る綱  
伊達【だて】 派手 粋 お洒落  
楯突く【たてつく】 逆らう 反抗する  
畳紙【たとうし】 着物を入れる厚手の和紙  
辿る【たどる】 探り求める 尋ねて探す  
棚引く【たなびく】 雲や霞が長く連なる  
谷藁【たながく】 蝦蟇 殿様蛙  
束ね【たばぬる】 取り仕切る まとめる  
誑かす【たぶらかす】 騙す 欺く 誤魔化す  
魂消る【たまがる】 驚く びっくりする  
手向く【たむける】 神仏に物を供える 餞別をやる

賜<sup>たま</sup>る【たもる】 賜<sup>たまわ</sup>る 頂<sup>たまわ</sup>く  
蛇<sup>だ</sup>羅<sup>ら</sup>【だら】 阿保陀羅經の略 乞食の俗謡 ②バカ ③人糞尿  
盥<sup>たらい</sup>【たりゃー たれー】 盥  
足り臭<sup>た</sup>し【たりくさか】 足りそうにない  
怠<sup>たる</sup>し【だるか】 体がだるい 疲れる  
垂<sup>たる</sup>氷<sup>ひ</sup>【たらし】 氷<sup>つらら</sup>柱<sup>つらら</sup>  
戯<sup>たわ</sup>く【たわくる】 戯<sup>たわむれ</sup>れる 戯<sup>おど</sup>ける  
戯<sup>たは</sup>言<sup>ごと</sup>【たわごつ】 ふざけたことば  
撓<sup>たわ</sup>み【たわみ】 折れ曲がり  
旦那<sup>だんな</sup>【だんな】 親方 亭主  
茅<sup>ちがや</sup> 白<sup>ちがや</sup>芽<sup>ちがや</sup>【ちがや】 萱<sup>かや</sup>  
杠<sup>ちぎ</sup>秤<sup>ちぎ</sup>【ちきり】 竿秤 天秤式計量器  
畜<sup>ちく</sup>生<sup>しやう</sup>【ちくしやう】 罵ることば ②自戒のことば  
乳<sup>ちち</sup>繰<sup>く</sup>る【ちちくる】 弄<sup>もてあそ</sup>ぶ ②男女が戯れ合う  
茅<sup>ちのわ</sup>の輪<sup>わ</sup>【ちのわ】 茅 夏越し祭りのお祓い  
茶<sup>ちや</sup>出<sup>だ</sup>し【ちやだし】 急須  
ちやちやくる【ちやちやくる】 男女がじゃれ合う  
茶<sup>ちや</sup>瓶<sup>びん</sup>【ちやびん】 土瓶 ②禿頭<sup>はげ</sup>  
ちやめく【ちやめく】 ふざける おどける  
ちやらふく【ちやらふく】 出鱈目を言う  
重<sup>ちやう</sup>疊<sup>じやう</sup>【ちやうじやう】 有難う  
ちよがらかす【ちよこらかす】 嘲<sup>ちやうらう</sup>奔 冷やかす からかう  
猪<sup>ちよ</sup>口<sup>こ</sup>才<sup>ざい</sup>【ちよこざい】 小癪な 生意気  
ちよっこり【ちよっこらーと】 こちんまりと  
ちよびっと【ちよびっと】 僅か ほんの少量  
ちよろまかす【ちよろまかす】 誤魔化す  
序<sup>ついで</sup>【ついでに】 幸便  
使<sup>つが</sup>ひ 遣<sup>ひ</sup>【つがひ】 小遣い  
番<sup>つがい</sup>【つがい】 蝶番 繋ぎ目 関節 ②動物の雌雄  
つがなし【つかんこと】 訳もない 他愛ない  
蹲<sup>つくばい</sup>・蹲<sup>そんきよ</sup>踞<sup>ちやうず</sup>【つくばい】 茶道の手水鉢  
蹲<sup>つくば</sup>う【つくばう】 うずくまる しゃがむ 腹這う  
つぐら【つぐら】 藁で丸く編んだ保温用の飯櫃  
つぐら【つぐらまく】 蛇がどくろ巻く  
繕<sup>つく</sup>ふ【つくろう】 修理する 乱れを直す  
付<sup>つけ</sup>届<sup>とど</sup>け【つけとどけ】 御進物  
晦<sup>つごもり</sup>【つごもり】 月籠りの略 三十日  
辻<sup>つじ</sup>【つじ】 四辻 四つ角 交差路  
辻<sup>つじ</sup>弊<sup>べえ</sup>【つじべえ】 十字路に立てる魔除けの御弊  
円<sup>つぶ</sup>ら【つぶら】 粒 ②形状 太さ

頭蛇袋《梵語》【づだぶくろ】 修行僧が持つ袋  
土圀う【つちかう】 土を寄せる  
土塊【つちくれ】 土の塊  
づつ【づつ】 等分量に分ける  
術無し【づつなか】 切ない 苦しい  
約まる【つづまる】 縮まる 短くなる  
綴る【つづる】 繋ぎ合わせる ②書く  
綴れ【つづれ】 破れを繕った着物  
伝【つて】 手づる 縁故 頼り  
苞【つと】 藁苞 ②脹ら脛  
唾【つば】 唾液 消化液  
燕【つばくらめ・つばくら】 燕  
芽花【つばな】 茅の花  
費え【つうえか】 費用 支出 ②無駄  
円【つぶら】 丸くふくよか  
潰る【つぶるる】 押して壊す ②駄目になる 倒産  
つべらこべら【つべこべ】 あれこれ小言を言う  
【局】 隠居所 離れ屋 分家  
端【つま】 縁 際 縁際 「座敷ンつま」  
爪判【つまいん】 拇印  
爪弾く【つまびく】 爪で弾く  
詰む【つむる】 満杯に入れる 縮める  
抓む【つめくじる】 抓る 爪で摘んでねじる  
積【つもり つもる】 心算 計画  
露と【つゆと】 ある程度 ②あまり  
蔓【つら】 蔓草  
連連【つらら】 氷柱 垂氷  
釣瓶【つるべ】 深井戸用水汲み桶  
つるむ【つるむ】 交接する  
連れ【つれ】 関連 ②種類 「こんつれ」  
連れ立つ【つんなむ】 伴う 一緒に行く  
徒然【づれづれ】 することもなく退屈  
手水【ちょうず】 洗面所 便所  
手負ひ【ておい】 負傷した獲物  
でかす【でかした】 よっくやった  
手掛【てかけ】 妾 第二夫人  
出来合ひ【できや一】 既製品  
でけもの【できもん でけもん】 腫瘍  
木偶【でく てっく】 木人形 ②不器用者  
手薬練【てぐすねひく】 用意万端整える 満を持す

出来た【<sup>でき</sup>けた】 できた  
手為【<sup>てし</sup>てし】 手製 手作り  
手塩皿【<sup>てしおざら</sup>てしおざら】 小皿  
手遊み【<sup>てずさみ</sup>てずさみ】 手慰み  
手代【<sup>てだい</sup>てだい】 使用人 ②下級役人  
出発ち【<sup>でたち</sup>でたち】 旅立ち 死者を送る別れの食事 出棺の膳  
出違ふ【<sup>でちがい</sup>でちがい】 入れ違いになる  
出交す【<sup>でつくわす</sup>でつくわす】 思い掛けなく出会う  
丁稚【<sup>でっち</sup>でっち】 小僧 雑役の小僧 男児  
鉄瓶【<sup>てつびん</sup>てつびん】 鉄製の湯沸し器  
でっぷり【<sup>でっぷり</sup>でっぷり】 肥っている  
天辺【<sup>てっぺん</sup>てっぺん】 頂上  
父親【<sup>てておや</sup>てておや】 男親  
手転業【<sup>ててんご</sup>ててんご てまんご】 手ずさび 手なぐさみ  
出鼻【<sup>ではな</sup>ではな】 旬 出っ端 出初め  
でばなくじく【<sup>でばなくじく</sup>でばなくじく】 最初からけちがつく  
手拭い【<sup>てぬぐい</sup>てぬぐい てんげ】 タオル  
手誉め【<sup>てぼめ</sup>てぼめ】 自画自賛 自慢  
出れぬ【<sup>でれん</sup>でれん】 出られない  
出ぬ【<sup>でん</sup>でん】 出ない  
伝供【<sup>でんぐ</sup>でんぐ】 神仏へ手渡しで供物を供える  
伝供取り【<sup>でんぐどり</sup>でんぐどり】 手渡しで物を運ぶ  
天眼通【<sup>てんげんつう</sup>てんげんつう】 天眼で見透かす力  
手手に【<sup>てんで</sup>てんで】 それぞれ 銘銘  
天道【<sup>てんたう</sup>てんたうさま】 天の神 天日 太陽  
転婆【<sup>てんば</sup>てんば】 お転婆 陽気で活発な娘  
同行衆【<sup>どうぎょうしゅう</sup>どうぎょうしゅう】 信仰仲間 門徒  
当座【<sup>たうざ</sup>たうざ】 当分の間 差当たり ②その場  
東司【<sup>とうす</sup>とうす】《梵語》 禅寺の便所  
とうと【<sup>とうと</sup>とうと】 遂に 結局 最終的に  
頭人【<sup>とうにん</sup>とうにん】 祭礼行事の世話役 幹事  
どうやら【<sup>どうやら</sup>どうやら】 どうにか なんとなく  
科【<sup>とが</sup>とが】 過失 過ち 罪  
どかす【<sup>どかす</sup>どかす】 退ける 場所を移す  
咎む【<sup>とがむる</sup>とがむる】 咎める 責める 非難する  
退く【<sup>どく</sup>どく】 退く 場所を移す  
得心【<sup>とくしん</sup>とくしん】 納得  
同志【<sup>どし</sup>どし】 同志 友達 友人  
徒然【<sup>とぜん</sup>とぜん とぜんなか】 退屈 ②寂しい 心細い  
跡絶ゆ【<sup>とだゆる</sup>とだゆる】 跡絶える

とちめく【とちめく】 狼狽する 慌て騒ぐ 慌てふためく  
届く【とづく】<sup>とど</sup>届く 達する  
ど突く【どづく】 殴る 懲らしめる  
滞る【とどこうる】 停滞する 渋滞  
跳び上がり【とびあがり】 突飛でそそっかしい人  
点す【とぼす】<sup>とど</sup>点す 点灯する  
弔ひ【とむりゃー】 弔い 死者の霊を慰める  
どまぐれる【どまぐるる】 まごつく ②捨鉢になる  
どもかうも【どもこも どんこん】 どうにもこうにも  
鳥屋 埒【とや】 鳥小屋 鶏小屋  
土用干し【どようぼし】 虫干し  
動めく【どよめく】 大勢がざわざわ騒ぐ ざざめく  
取り敢へず【とりあえず】 まず 当面 差し当り  
取り込む【とりこむ】 収穫する ②味方にする  
取り立て【とりたて】 借金取り ②登用  
取り繕う【とりつくろう】 体裁を作って  
執り持つ【とりもつ】 世話する ②仲介する  
鈍し【とろか】 鈍い **slow** 鈍感  
泥塊【どろくれ】<sup>くれ</sup>泥の塊  
十【とを】 十  
門渡り【とわたり】 狭い所を渡る  
どうもかうも【どんこん】 如何にも どうにも  
とんだ【とんだ】 意外な 案外に  
とんと【とんと】 全然 全く まるで  
蔑【ないがしろ】<sup>ないがしろ</sup> 侮って無視する  
内々【ないない】 内密に 密かに こっそり  
緇ふ【なう】 撚り合わせる 「緇なう」  
直す【なおす なわす】 正す 修理 かたづけ 隠す  
直会【なおらい】 「直り会」 神事終了後神饌を頂く酒宴  
直る【なお】 正しくなる ②場所を移る  
中々【なかなか】 余程 かなり 随分 容易に  
宥む【なだむる】<sup>なだ</sup>宥める 慰める  
長持ち【ながもち】 長櫃 衣装調度品入れ  
凩【なぎ】 無風で波穏やかな海  
名残惜し【なごりううか】 名残尽きない  
何 為【なして】<sup>なじ・なにし</sup>何故  
準ふ 擬ふ【なぞる】<sup>なぞら</sup> 準える 似せる  
宥む【なだむる】<sup>なだ</sup> 宥める 慰める  
納所【なっしょ】<sup>なっしょ</sup> 禅寺の食糧収納所 ②炊事  
舐めづる【なめずる】 しゃぶる

なはしろ  
苗代【なえしろ なわしろ】 苗床  
何かな欲し【なにがなほしか】 何か食べたい  
なび  
靡く【なびく】 横に流れる ②心が傾く ③従う  
生覚え【なまおぼえ】 うろ覚え  
生臭し【なまくさか】 生の魚や肉の匂い 血腥い なまぐさ  
生臭気【なまくさけ】 酒の肴 さかな 魚料理  
なます  
鱈【なます】 野菜に魚肉を加えた酢和え  
舐めづる【なめずる】 舐め回す  
な  
萎ふ【なゆる】 萎れる 萎縮 力が抜ける  
奈落【ならく】《梵語》 地獄の果て  
馴らす 慣らす【ならす なれかす】 練習して慣れ親しませる  
成り上がり【なりあがり】 出世する 金持ちになる  
成り下がる【なりさがる】 落ちぶれる ②たわわに実る  
…なりと【なつと】 …なりとも  
なりはひ  
生業【なりわい】 職業  
馴れ合ひ【なれや一】 慣れ親しんだ友達  
慣れ慣れし【なれなれしか】 慣れ親しんでいる  
なはしろ  
苗代【なわしろ】 苗床 稲苗を育てる床  
なほ  
直す【なわす】 **correct** 正す 修理する ②片付ける  
難儀【なんぎ】 難渋 苦勞  
なんさま  
何様【なんさま】 何しろ 如何にも 兎に角  
難渋【なんじゅう】 悩み苦しんでいる  
何せうぞ【なんしゅうぞ】 何をしようと  
何ぞ【なんぞ】 何か 何であるか どうしてか  
納戸【なんど】 衣類や調度品を収納する所  
何とは無し【なんとはなし】 何と言うことはなく  
何の【なんの】 何で 何ほどの ②どういたしまして  
何や彼や【なんやかや】 なんだかんだ  
にへ にえ  
贅【にえ】 神仏への供え物 「生け贅」  
煮えかへる【にえかえる】 激怒する  
には には  
匂ふ 臭ふ【におう】 香る ②臭う  
苦い【にがか】 **bitter** ②苦しい  
賑はふ【にぎあう】 賑う 活気がある  
にぎにぎ  
賑々し【にぎにぎしか】 大勢で賑やかな様  
おほ  
逃げ果す【にげおうす】 逃げ切る  
逃げ惑ふ【にげまどう】 逃げ場を失う  
にじ  
躪る【にじる】 じりじりと押しつける  
にじ  
躪り込む【にじりこむ】 無理やり詰め込む  
にら  
睨まふ【にらむ】 睨む  
憎し【にっか】 憎々しい

にはか  
俄【にわか】 突然 いきなり 急に  
にやげ  
若氣る【にやくる】 にやにやする  
ぬか  
吐かす【ぬかす】 ほざく 「言う」の卑語  
貫く【ぬかる】 貫通する 突き通る  
抜かる【ぬかる】 油断する 失敗する しくじる  
抜く【ぬくる】 抜け出る 脱落する 外れる  
ぬくぬく【ぬくぬく】 図々しく 図太く  
主【ぬし】 主人 夫 君 あなた  
ぬめ  
滑る【ぬめる】 滑って前に倒れる  
ぬ  
寝る【ぬる】 寝る 横になる  
ぬる  
微温し【ぬるか】 生暖かい ②手緩い  
ぬるまゆ  
微温湯【ぬるまゆ】 ぬるい湯 ②のろま 愚鈍  
ぬる  
微温む【ぬるむ】 温くなる 冷める  
濡る【ぬるる】 濡れる  
寝起く【ねおき】 寝起き 目覚め  
ねき【にき】 傍らに そばに 近くに 「親ンにき居る」  
寝覚め【めざめ】 目覚め  
ねむ  
妬む【ねたむ】 嫉妬する 羨む ②憎む  
ね  
舐ぶる【ねぶる】 舐める しゃぶる  
ねんご  
懇ろ【ねんごろ】 親切 丁寧 丁重 念入り  
逃る【のがるる】 逃れる 避難する 避ける  
の  
退く【のく】 退ける 他の場所に動かす  
の  
退け【のけ のけろ どけ】 退け 立ち去れ  
ぬぐ  
のごふ【ぬぐう】 拭う  
残り多し【のごりううか】 心残りだ 名残惜しい  
野晒し【のざらし】 日光や風雨にさらす  
乗す【のする】 上に置く 上になる  
のたうつ【のたうつ】 七転八倒する  
のつきに【のつきに】 いきなり 最初に 始めに  
のぼ  
上す【のぼする】 逆上する ②夢中になる  
のろま  
野呂間【のろま】 鈍間 愚鈍 間抜け  
拝領【はいりょう はいよ】 恩賜 主君から物をもらう  
ほうらつ  
放埒【ほうらつ】 無駄 おびただしい  
生え抜き【はえぬき】 土着人 地域に生れ育った人  
映える 栄える【はえる】 見映えが良い  
はぎ  
歯痒ゆし【はがいか】 焦れたい  
はぎ  
脛【はぎ】 足のはぎ  
はくろう  
博労【はくろう】 家畜商人  
はげ  
半夏【はげ】 半夏生  
はこ  
糞器【はこ】 清箱 便器 ②大便

婆娑羅【ばさらか】 乱暴 粗雑  
端【はした】 fraction 残り物 不揃い 半端  
走り【はしり】 ②初物 旬の野菜や果物  
走りこぐら【はしりぐりゃ】 徒歩競争  
弾む【はずむ】 にぎわう 調子づく ②金品を提供する  
筈 杷ぞ【はぞ】 果物を千切る道具 矢筈状の竹竿  
はだかる はたかる【はたがる】 両足を広げる  
はったい粉【はっちゃんこ】 麦粉  
はったと【はたと】 全く ②すっかり 突然 急に  
淡竹【ハチク】 中国原産の竹  
初穂【はつお】 神仏に供える初物  
はったいこ【はったいこ】 麦粉 麦を炒って碾いた粉  
ばったり【はったと】 全く ②急に 突然  
ばっとう筈【ばっちょうがさ】 真竹皮製筈 菅筈  
削る【はつる】 削り取る 剥ぐ  
ばとて 古語【ばってか】 然し だけど でも  
果て行く【はってく】 行ってしまう 帰る ②死ぬ  
鼻蔓【はなづら】 鼻頭 鼻先  
蔓延る【はびこる】 草木が伸びる ②盛んになる  
懼り【はばかり】 遠慮 恐れ慎む ②便所  
掃く【はわく】 箒で掃く  
放る【ほうる】 放り散らす 投げ遣る  
嵌る【はま】 没頭する 合致する 傾注 熱中  
食み【はみ】 食料 飼料  
食む【はむ】 食べる  
孕む【はらむ】 妊娠する  
ばらもん凧【ばらもんだこ】 唸り音を出す和凧  
腸【はらわた】 内臓 臓綿  
張り合ふ【はりあう】 競合する 対抗する  
般若湯【はんにゃとう】《梵語》 お酒  
日がな一日【ひがないっちんち】 一日中 終日  
日暮らし【ひぐらし へぐらし】 終日 残業 ②生業  
僻む【ひがむ】 心が捻くれる 直でない  
引き合わぬ【ひきあわぬ】 割に合わない  
比丘【びく】《梵語》 出家した男性の僧侶  
比丘尼【びくに びくん】《梵語》 出家した尼僧  
日暮らし【ひぐらし へぐらし】 生業 ②終日  
孫生ゆ【ひこはゆる】 切り株から発芽する ②長く延びる  
日ひと日【ひして】 一日 終日  
鏝一文【びたいちもん】 ごくわずかなお金

只管【ひたすら】 一途に 一筋に  
ひだるし【ひだるか】 空腹 餓える  
提ぐ【ひっさぐる】 携帯する  
びっしり【びっしり ぎっしり】 隙間なく  
引き剥ぐ【ひっぱぐる】 剥げ落ちる  
人聞き【ひとぎき】 外聞  
一入【ひとしお】 ひときわ 一段と 一層 格別  
一溜【ひとたまり】 一時しのぎ  
一花【ひとはな】 一時期 暫くの間 短時間  
日向ぼこり【ひなたぼっこ】 日光浴  
捻繰る【ひねくるる】 ねじる 無理に回す  
陳者【ひねもん】 老熟者 ②不良品 中古品  
隙入る【ひまいる】 時間がかかる  
ひもじい【ひもじか】 腹が減った  
日傭【ひゆう】 日雇いの賃金  
日和【ひより】 天気 ②なりゆき  
兵糧【ひょうろう】 食物 餌  
ひよんな【ひよんな】 妙な 意外  
放る 痢る【ひる へる】 放る 体外へ放つ 排泄する  
干る【ひる】 潮が引く  
日若し【ひわか】 日若い 歳若い 可憐で若々しい  
干割る【ひわるる】 干割れる  
貧相【ひんそう】 貧しい相 みすばらしさ  
鬢類【びんづら】 頬 ほっぺた  
引ン抜く【ひんぬく】 引き抜く  
符【ふ】 運 「符のよか」  
無塩【ぶえん】 鮮魚  
分限者【ぶげんしゃ ぶげんしゃどん】 金持ち 富豪  
塞ぐ【ふさぐ】 閉じる  
普請【ふしん】 土木建築をする ②禅寺の工事  
布施【ふせ】 仏僧に施す物品や金銭  
斑【ぶち】 斑点  
ぶつつり【ぶつつり】 ばっさり切り離す  
無調法【ぶちようほう】 粗相 粗忽 不行き届  
不貞る【ふてる】 不貞腐る  
不埒【ふらち】 不届きな者  
触れ役【ふれやく】 情報屋 おしゃべり  
分捕る【ぶんどる】 強奪する 奪い取る  
剥がる【へがる】 減る 少なくなる  
折【へぎ】 薄く削り取った竹ひご

削ぐ【へぐ】 表皮を薄く削る  
日暮らし【へぐらし】 夕暮れまでの残業 ②終日  
凹む【へこむ】 窪む  
辺 端【へた】 辺田 岸边  
放る【へる】 放る 放屁する  
辺土【へんど へんぴ】 辺地 不便なところ  
頬桁【ほうげた】 頬骨 頬  
神庫【ほくら】 祠 石祠 小さな社  
綻び【ほこれ】 縫目が裂けたもの  
ほざく【ほざく】 ぬかす [言う] の卑語  
恣に【ほしいままに】 望み通り  
柄【ほぞ】 木材の接合部分の凸起 雄器  
臍【ほぞ】 臍 ②果実の蒂  
榎木【ほたぎ】 パルプ用木片 ②焚き木  
ほたゆ【ほたゆる】 戯れる 騒ぐ  
打込む【ぼっこむ】 込みで 一緒に含める  
綻び【ほつれ】 縫目や網物が解けたもの  
火照る【ほてる】 暑く感じる 皮膚が焼けて痛む  
程【ほど】 分際 分限 ②体格  
迸る【ほとばしる】 勢い良く飛び出る  
潤ぶ【ほとぶる】 水を含んでふやける  
誉む 褒む【ほむる】 誉め称える  
火めく【ほめく】 蒸し暑い  
ぼやく【ぼやく】 残念がって小言を言う  
煩惱【ぼんのう】《梵語》 心身を迷わす欲望や迷い  
盆の窪【ぼんのくぼ】 後頭部の窪み  
眉毛【まいげ】 眉毛  
賄【まいない】 お礼の品 ②賄賂  
前垂れ【まえだれ】 前掛け  
任す【まかする】 leave 自由にさせる  
賄う【まかなう】 食事を供応する ②やりくる  
摩訶不思議【まかふしぎ】 非常に不思議  
まくしたつ【まくしたつる】 べらべら喋る  
負く【まくる】 負ける 戦に破れる  
捲る【まくる】 巻き上げる ②盛んにする  
曲ぐ【まぐる】 曲げる 捻曲げる ②自分を押える  
紛し【まぎらわしか】 間違いやすい  
枉げて【まげて】 無理に 強いて 是非とも  
誠に【まこて】 全く quite 本当に  
間尺【ましゃく】 計算 割に合わない

混ず 交ず【まざる】mix 混合する  
跨ぐ【またがる】 股を開いて上に乗る  
股座【またくら】 股間 股の付根 ②陰部  
まつぼり【まつべり】 集め纏める ②へそくり  
纏は(わ)す【まつわる】 巻き付く 絡みつく 付き纏う  
償ふ【まどう】 弁償する  
間怠し【まどろしか】 もどかしい 手ぬるい  
間無し【まなし】 絶え間なく 頻繁ひんぱんに  
免る【まぬがるる】 免罪される 逃れる  
瞬く【まばたく】 瞬またたく  
眩し【まばいか】 眩しい 目映い  
塗る【まみるる】 濡れて汚れる  
忠実【まめか】 真面目 実直 誠実  
馬屋【まや】 馬小屋  
放る【まる】 放る ②放尿する  
曼陀羅【まんだら】《梵語》 蓮の実 ②仏の絵  
見合ふ【みあう】 つりあった分量  
見合はす【みあわする】 検討する 次回に廻す  
見掛け【みてくれ】 見栄 外見  
見切り【みきり】 見届ける 決心 ②見限る ③安売り  
身仕舞ひ【みじまい】 身支度 dress 着付け  
身動く【みじろぎ みじろぐ】 少し体を動かす  
見す【みする】 見せる ②決意表明  
水子【みずこ】 流産した胎児  
見たむなし【みたむなか みっともなか】 見たくもない  
道すがら【みちすがら】 道中 来る途中  
身繕ひ【みづくろい】 身支度 dress 着付け ②化粧  
見咎む【みとがむる】 見咎める 見て怪しく思う  
見所【みどころ】 将来性 ②値打ちある所  
水口【みなくち】 水田の取水口  
見習う【みならう】 見て覚える  
見目 眉目【みめ】 見た目 容貌  
身持ち【みもち】 品行 行い ②妊娠  
名代【みょうだい】 代理人  
夫婦【みょうと】 夫妻  
むかご【むかご】 山芋ヤマイモの実  
向かふ【むかう】 立ち向かう 敵対する 対峙する  
惨い【むごか】 ひどい 冷酷 残酷  
無惨【むざん】 残酷 乱暴  
無常【むじょう】 常でない はかない

莖【むしろ】 稲藁などで編んだ敷物  
結むすぼる【むすぼる】 取っ組み合う ②合体する  
咽むせぶ【むする むせぶ】 むせる 咳込む  
無むぞう慙【むぞうか】 可愛い **darling** 可愛らしい  
無むづげ惨むづなげ氣 無むづげ慙むづなげ氣【むづげ むづなげ】 不憫だ 痛ましい 可哀相  
憤むづがる【むづがる】 機嫌を悪くする 不快になる  
縛むつる【むつるる】 絡まる ②仲互い ③混乱する  
郁ムベ子【ウベ ムベ ンベ】 アケビ科常緑蔓性低木  
飯めしつぎ次【めしつぎ】 飯櫃 炊飯ジャー  
滅めっさう相【めっさう】《梵語》法外 とんでもない  
面々【めんめん】 各人で 一人一人  
申もすす【もす】 ます 敬って言う 「仕えもす」  
申もせせ【もせ】 して差し上げろ 「遣りもせ」  
悶もだゆ【もだゆる】 煩悶する 悩み苦しむ ②急ぐ 早くする  
擡もたぐ【もたぐる】 擡げる 持ち上げる ②煽おたてる  
持もちち崩くずす【もちくずす】 品行を乱す ②破産する  
勿も体ちやなし【もちや一なか もって一なか】 勿体ない  
縛もつる【もつるる】 絡まる 混乱する ②仲違いする  
持もてて成なしし【もてなし】 接待 待遇 振る舞い  
回もとらん【もとらん】 回転しない ②口が回らない  
物もの悲がし【ものがなしか】 何となく悲しい  
揉もむめる【もむる】 ごたごたする やきもきする 紛糾する  
舂もやひ【もや一 もやい】 催合う 共同 共有 助け合う  
燃もゆゆ【もゆる】 燃える 火がつく ②意欲が沸く  
悶もん着ちやく【もんちやく】 悶着 もめごと  
翻もんどり筋斗【もんどり】 宙返り とんぼ返り 「もんどりうつ」  
粃もん櫃【もんびつ】 粃の貯蔵容器  
焼やいき処 灸【やあと】 お灸  
やうやう【ようよ よよして】 漸ようやく 能く やっと ②次第に  
族【やから】 一族 一門 一派 仲間  
益やく体たいなし【やくたいなか】 役に立たない  
役やく無し【やくなし】 無能 役立たない  
薬やく罐【やくわん】 湯沸し器 煎じ薬用の器  
やっと【やっと】 沢山 大層  
宿やどす 宿やどる【やどる】 妊娠する 子供を孕む  
脂や下さがる【やにさがる】 気取る 得意顔する  
病やむ【やむ】 病気する 患う  
やむごとなし【やはなか】 大変だ 大儀だ  
遣やらす【やらす】(上代敬語) 人に物を遣る 差し上げる  
過やりごす【やりすごす】 通過するのを待つ

遣り申す【やりもす】(上代敬語) 差し上げる  
脂やに竊もち【やんもち】 捕り竊  
結い【ゆい】 農作業などの労力交換  
善よふ【ゆう】 善く  
善うぞ【ゆうぞ】 善くぞ  
言う舞い【ゆうみゃー】 言わずにおこう  
歪ゆがむ【ゆがむ】 歪む 変形する  
揺る【ゆする】 揺り動かす  
湯文字【ゆもじ】(女御言葉) 腰巻き 和装下着 浴衣  
緩い【ゆるか】 弛ゆるい  
養生【ようじょ】 療養する  
能う能う【ようっと ようと】 漸ようやく 能く やっと ②次第に  
要なし【ようなし】 お役御免 役に立たない  
善よか【よか】 善い 優良  
歪ゆがむ【よがむ】 歪む 変形する  
斧【よき】 手斧  
避く【よくる】 避ける 道を譲る ②遠ざける  
憩よこふ【よくう】 休憩する ②欠勤する  
余計【よけい】 余分に 沢山 多く  
横座【よこざ】 上座 横敷物のある座席  
善う御座る【よござす】 承知しました  
依え枯こ最ひい眞き【よこひいき】 一方だけひいきする  
汚る【よごるる】 汚れる  
夜更より【よさり】 夜 晩 ※「さり」はやって来るの意  
よしなに【よしなに】 都合よいように 適当に  
誼よしみ【よしみ】 親しい間柄 縁故 交わり  
余所者【よそもん】 余所から来た人  
様相悪し【よそわしか】 不潔だ 汚い  
四つ足【よつあし】 獣 **beast** 畜生  
夜伽【よとぎ】 伽 お通夜  
夜振より【よぶり】 夜間の漁  
よっぼど【よっぼで】 よきほど 余程 かなり  
夜な夜な【よなよな】 毎晩  
婚よばひ【よばい よびゃー】 夜中に女部屋に忍び込む性風習  
黄泉路【よみじ】 冥土へ行く路  
夜々して【よようして】 ようやく やっと ②次第に  
万よろず【よろず】 多種雑多 ②不要品  
昨よんべ晩【よんべ】 昨夜  
埒明かぬ【らちあかん】 埒らちらない  
利口者【りこもん】 賢い人 知恵者

りちぎ  
律儀【りちぎ】 義理堅い

りんき  
悋気【りんき】 嫉妬 やきもち

ろくどう  
六道【ろくどう】《梵語》 死後の世界

ろれつ  
呂律【ろれつ】 ものを言う調子

わきまへ  
弁る【わきまゆる】 善悪を判断する

わく  
分く【わく】 木挽 木材を縦に分断

わざ  
態と【わざと わんざと】 故意に 態々

わざわざ  
態々【わざわざ】 特に 取り立てて 故意に

わし  
儂【わし】 私 自分

わするる  
忘る【わするる】 忘れる

わせ  
早稲【わせ】 早生 早熟 ②おませ

わたまし  
移徒・渡座【わたまし】 落成祝い 新居披露

わなな  
戦慄く【わななく】 恐怖で体が震える おのの

わめく  
喚く【わめく】 大声で叫ぶ どなる

わや  
わや【わや】 駄目になる

わやく  
わやく【わやく】 無茶 悪い冗談

わらしべ  
藁楷【わらしべ】 稲藁の芯

わらづと  
藁苞【わらづと】 土産を入れる容器

わり  
我【わり】 ②お前 [あなた] の卑語